

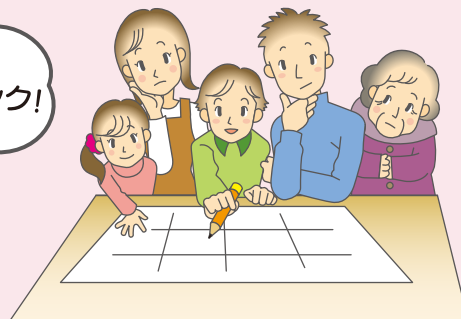


災害への備え

災害について話し合しましょう

- ☐ 家の中ではどこが一番安全か
- ☐ 災害時の行動や役割分担をどうするか
- ☐ 避難経路、避難所等はどこにあるのか
- ☐ 家族間の連絡方法と集合場所はどこにするのか
- ☐ 非常持出品の準備・点検はしたのか

ここをチェック!



非常持出品、備蓄品

非常持出品、備蓄品の準備は防災の基本です。リストを参考に準備しましょう。
また、食品の賞味期限やラジオなどの電化製品に故障がないかを定期的に点検しましょう。

非常持出品

避難するときに持ち出す最小限の必需品です。あまり重いと避難に支障が出ますので、コンパクトにまとめ、すぐ取り出せるところに保管しておきましょう。

- ☐ **ヘルメット・防災ずきん** 落下物から頭を守るための必需品
- ☐ **懐中電灯** 停電時や夜間の移動に欠かせない(予備の電池も必要)
- ☐ **非常食** 乾パンなど、火を通さずに食べられるもの
- ☐ **貴重品** 預金通帳、健康保険証、免許証、お金、携帯電話、充電器など
- ☐ **水** 持ち運びに便利なペットボトルなど
- ☐ **リュックサックなど** 非常持出品を入れる。両手が確保できるリュックサックなど
- ☐ **携帯ラジオ** 小型で軽く、FMとAMの両方を聴けるものがよい(予備の電池も必要)
- ☐ **救急用品・薬** 常備薬、持病薬、マスク、ばんそうこうなど
- ☐ **生活用品** 衣類、軍手、ナイフ、ライター、缶切り、タオル、雨具など



備蓄品

災害復旧までの数日間を自足するためのものです。最低でも3日間、可能なら1週間は自足できる量を保管しておきましょう。

- ☐ **非常食** そのまま食べられるか、簡単な調理で食べられるもの。缶詰やレトルト食品など
- ☐ **生活用品** カセットコンロと予備のガスボンベ、毛布、衣類、トイレットペーパー、ビニール袋、ドライシャンプー、ウェットティッシュなど
- ☐ **水** 飲料水と生活用水を用意する。飲料水は1人1日3リットルが目安

※日常備蓄について(ローリングストック)

普段から少し多めに食材、加工品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料を家に備蓄しておきましょう。



避難時の心得

状況に応じてすばやく避難しましょう

町からの避難情報が発せられる前でも、気象情報や風雨の状況により自己判断で避難しましょう。

そとに避難する時はあわてずに

そとに避難する時は瓦やガラスなどの落下物、飛来物に注意しましょう。裸足でそとに出ると足にけがをするので、運動靴など歩きやすい靴をはいて落ち着いて行動しましょう。



避難は徒歩で

道路の損壊や倒壊物、浸水深30cm以上、交通集中による渋滞などにより通行が困難になったり、緊急車両の妨げにもなりますので、自動車による避難は避けましょう。



動きやすい格好で、持出品は最小限に

動きやすい服装や運動靴などで避難しましょう。非常持出品はリュックサックにまとめ、両手が自由に使えるようにしましょう。



みんなで助け合いましょう

できるだけ近所の人たちと集団で避難しましょう。家族、隣近所、地域みんなで助け合い、避難が困難な方に手助けしましょう。



塀ざわや狭い路地、がけ、川のそばに近づかない

ブロック塀や門柱、自動販売機など倒れやすいものに近づかず、がけや川のそばの通行も避けましょう。

風水害避難時の注意点

台風や大雨の状況は、事前に天気予報などの気象情報によりある程度予測することが可能です。テレビ、ラジオなどで最新の情報を知り、早めの避難を心がけましょう。がけや川の近くに住む人は、特に注意が必要です。

- 子供や高齢者から目を離さないようにしましょう。
- 浸水時の歩行は、細心の注意を払い、棒などで水中のマンホールや溝に注意しましょう。流れがある場合や深い場合は高いところに避難し、救助を待ちましょう。
- 雨が強く、避難することが危険な場合がありますので、自宅の2階部分やがけから離れた部屋などで待機しましょう。また、暴風の場合もそとに出ず、窓が少ない部屋などで待機しましょう。

